

緊急シンポジウムで、アピールを発表しました。

2013.05.11

日本てんかん学会との共催で、日本障害フォーラムの後援を受けて、緊急シンポジウム「事故をなくしたいー病気や障害と自動車社会の共存をめざしてー」を、5月11日(土)の午後にTKPガーデンシティ竹橋で開催しました。

当日は、生憎の雨天にもかかわらず、全国(北海道から四国まで)から約100人の、国会議員(代理人を含)、メディア関係者、障害支援団体・患者会関係者などが集まりました。

このシンポジウムでは、基調報告、当事者による指定発表、そしてシンポジウムが行われ、次の内容のアピールを確認しました。

「高齢者、病気や障害のある人、そしてあらゆる人の移動に関するバリアフリー社会を、私たちは望みます。国がさまざまな研究や地域の取り組みを一元化し、推進することにより、ソフトウェア、ハードウェアとともに世界に誇れるような新しい地域社会が実現することを望みます。」